

衛生 デイリーテスト

次の文章について適当なものには1を、そうでないものには2をマークしなさい。選択肢がある場合は、正しい番号をマークしなさい。

■ 健康と疾病をめぐる日本の現状

問 下表は、年代別死因別死亡順位の年次推移である。ア～オは、結核、脳血管疾患、心疾患、悪性新生物、肺炎である。それぞれにあてはまるはどれか。選択肢1～5からそれぞれ選べ。

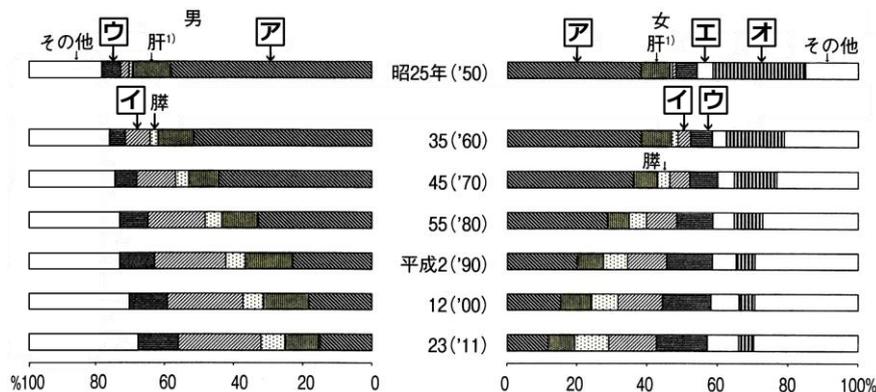
年	1位	2位	3位	4位
1950 (昭和 25)	ア	イ	ウ	胃腸炎
1965 (昭和 40)	イ	エ	オ	老衰
1980 (昭和 55)	イ	エ	オ	ウ
2000 (平成 12)	エ	オ	イ	ウ
2008 (平成 20)	エ	オ	イ	ウ
2012 (平成 24)	エ	オ	ウ	イ

- 問1 ア
問2 イ
問3 ウ
問4 エ
問5 オ

選択肢【 1. 結核 2. 脳血管疾患 3. 心疾患 4. 悪性新生物 5. 肺炎 】

■ 生活習慣病とその予防

問6 下図は我が国における性・部位別にみた悪性新生物死亡数割合の推移を示したものである。次の記述のうち、正しいのはどれか。すべて選べ。



- 1 アは、胃である。
- 2 イの悪性新生物のリスクを上げるものに、飲酒があげられる。
- 3 ウの悪性新生物の第一次予防として、低脂肪食があげられる。
- 4 エの悪性新生物のリスクファクターに、ヒトパピローマウイルスがある。

■ 感染症の現状とその予防

問7 インフルエンザの予防接種は、年齢に関わらず定期接種の対象となる。

問8 検疫法により定められている検疫感染症はどれか。すべて選べ。

- | | | |
|---------------------|----------------|--------|
| 1 後天性免疫不全症候群 (AIDS) | 2 急性灰白髄炎 (ポリオ) | 3 マラリア |
| 4 コレラ | 5 エボラ出血熱 | 6 デング熱 |

問9 感染症法において、特定感染症指定医療機関に入院可能な感染症にあてはまらないのはどれか。2つ選べ。

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1 コレラ | 2 結核 | 3 エボラ出血熱 |
| 4 ペスト | 5 ポリオ | 6 デング熱 |

■ 感染症の現状とその予防

<複合問題>

緩和医療について、以下の間に答えよ。

問10 (実務) 緩和医療について、正しいのはどれか。1つ選べ。

- 1 末期癌患者のみを対象とする。
- 2 在宅では行われない。
- 3 チーム医療が特に重要である。
- 4 鎮痛薬の第一選択は、モルヒネである。
- 5 抗不安薬は使用しない。

問11 (衛生) 疾病の予防において、緩和医療と同じ第三次予防にあたるのはどれか。1つ選べ。

- 1 食事摂取基準の設定
- 2 リハビリテーション
- 3 新生児マススクリーニング
- 4 健康診断

<複合問題>

生後 30 日の男児。人工栄養を投与している。出生時体重は 3,000g。低体温 (34.4℃)、皮膚は乾燥し、やや浮腫状、手足の動きが悪い。また鼓腸傾向があり、便秘がみられる。軽度の黄疸を認め、よく舌を出している。検査より TSH が高値であった。

問12 (衛生) この患者における新生児マススクリーニングの対象疾患として、最も疑わしいのはどれか。1つ選べ。

- 1 フェニルケトン尿症
- 2 クレチン症
- 3 先天性副腎過形成症
- 4 ホモシスチン尿症
- 5 メープルシロップ尿症

問13 (実務) この患者に対する今後の治療の提案として、最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- 1 レボチロキシンナトリウムの投与
- 2 フェニルアラニン制限チロシン添加ミルクの投与
- 3 バリン・ロイシン・イソロイシン除去ミルクの投与
- 4 コルチゾールの投与
- 5 低メチオニン食の摂取

<複合問題>

29 歳女性、38℃の発熱をきたし、いったん解熱後、再び 39℃の発熱がみられた。風疹様の発疹と咽頭痛、リンパ節の腫脹がみられ、近医で風疹と診断された。

問14 (実務) 風疹と同様の感染経路別予防策を行うのはどれか。2つ選べ。

- 1 インフルエンザ
- 2 A 型肝炎
- 3 百日咳
- 4 日本脳炎
- 5 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)

問15 (衛生) 我が国における現在の風疹対策に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 先天性風疹症候群を防ぐために、妊娠中にワクチンを投与すべきである。
- 2 MR ワクチン (麻疹・風疹混合ワクチン) の 2 回接種制度は、原則として、1 歳児 (第 1 期) と小学校入学前 1 年間の幼児 (第 2 期) に行う。
- 3 20~40 歳代男性は、約 80% が風疹の抗体を保有していない。
- 4 妊娠中の配偶者あるいはパートナーを持つ男性は、ワクチン接種を受けるべきである。

<複合問題>

性行為感染症（STD）に関する問に答えよ。

問16 （衛生）性行為感染症（STD）とその病原体の組合せのうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- | | | | |
|---|------------------|-------|------|
| 1 | 梅毒 | _____ | 原虫 |
| 2 | アメーバ赤痢 | _____ | 細菌 |
| 3 | 膣カンジダ炎 | _____ | 真菌 |
| 4 | 後天性免疫不全症候群（AIDS） | _____ | 細菌 |
| 5 | 尖圭コンジローマ | _____ | ウイルス |

問17 （実務）性行為感染症（STD）の患者に対して用いる治療薬に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 レボフロキサシン水和物の副作用として、光線過敏症がある。
- 2 テトラサイクリン塩酸塩は、牛乳での服用は避けるよう服薬指導をする。
- 3 エファビレンツは半減期が短いため、1日3回服用する。
- 4 リトナビルはCYP誘導作用があるため、併用薬に注意しなければならない。

<複合問題>

23歳、男性。身長168cm、体重58kg。前日からの米のとき汁様下痢を主訴に来院、その後保険薬局に処方せん（処方内容：テトラサイクリン塩酸塩、ノルフロキサシン）を持参した。2日前に東南アジア観光旅行から帰国した。意識は清明。体温36.4℃。脈拍80/分、整。血圧110/60mmHg。腹部に圧痛はない。

問18 （実務）この患者への薬剤師の対応として、適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1 感染症法に基づき、対応した薬剤師がただちに最寄りの保健所に届け出る必要がある。
- 2 本患者は強制的に入院をさせる必要があるため、診察した医師にその旨を確認する。
- 3 処方薬に加え、経口補水液の購入を勧める。
- 4 処方薬に加え、止瀉薬の購入を勧める。
- 5 糞便を念頭に置いた接触感染予防策を徹底させる。

注）感染症法：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

問19 （衛生）この患者が罹患したと推定される感染症に関する記述のうち、正しいのはどれか。1つ選べ。

- 1 感染症法では三類感染症に指定されている。
- 2 献血時に感染の有無の検査が行われる。
- 3 病原体は、主に蚊によって媒介される。
- 4 日和見感染症の原因として重要視されている。
- 5 予防接種法に基づく定期の予防接種が実施されている。

<複合問題>

前日よりインフルエンザ様症状を呈した7歳の男子（体重24kg、血清クレアチニン0.9mg/dL）に対し、以下が処方された。

【処方】

処方1) オセルタミビルリン酸塩カプセル 75mg (オセルタミビルとして)
 1回1カプセル (1日2カプセル)
 1日2回朝・夕食後 14日分

処方2) アスピリン・ダイアルミネート錠 330mg 1回2錠
 発熱時頓服 1日2回まで 5回分

問20 (実務) 処方医に対する薬剤師の対応について、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 オセルタミビルの1日量を1カプセルに変更するよう疑義照会する。
- 2 オセルタミビルの投与日数を5日分に変更するよう疑義照会する。
- 3 アスピリンの1回量を1錠に変更するよう疑義照会する。
- 4 アスピリンの頓用を食後投与に変更するよう疑義照会する。
- 5 アスピリンの使用中止もしくは他剤へ変更するよう疑義照会する。

問21 (衛生) インフルエンザに関する記述のうち、誤っているのはどれか。2つ選べ。

- 1 インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）は、感染症法で五類定点把握感染症に指定されている。
 - 2 インフルエンザウイルスの潜伏期間は、2週間と比較的長い。
 - 3 インフルエンザHAワクチンは、生ワクチンである。
 - 4 65歳以上の高齢者に対するインフルエンザの予防接種は、予防接種法における定期B類疾病である。
 - 5 鳥インフルエンザ(H5N1)と鳥インフルエンザ(H7N9)は、ともに検疫感染症の対象となる。
- 注) 感染症法：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

<複合問題>

24歳、男性。海外ボランティア活動のため、アフリカ地域への海外渡航を予定している。注意すべき感染症についての相談のため、渡航前に来局した。

問22 (実務) この男性に行う助言として、防虫対策が必要なウイルス感染症はどれか。2つ選べ。

- 1 コレラ
- 2 マラリア
- 3 デング熱
- 4 チクングニア熱
- 5 オウム病

問23 (衛生) 中央アフリカ地域で注意すべき感染症として黄熱がある。黄熱に関する記述のうち、誤っているのはどれか。2つ選べ。

- 1 黄熱の病原体は、ウイルスである。
- 2 感染症法において、四類感染症に指定されている。
- 3 病原体は、蚊が媒介することで感染する。
- 4 有効なワクチンはない。
- 5 致死率は90%を超える。

注) 感染症法：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

<複合問題>

50歳、男性。事務職。身長170cm、体重73kg。会社の定期検診の結果、早朝空腹時血糖115mg/dL、早朝空腹時血清トリグリセリド270mg/dL、血清LDL-コレステロール150mg/dL、血圧140/90mmHg、ウエスト周囲径92cmであった。そして、メタボリックシンドロームと診断された。

問24 (実務) メタボリックシンドロームの診断基準に該当しないのはどれか。2つ選べ。

- 1 BMI
- 2 血清トリグリセリド値
- 3 LDLコレステロール値
- 4 収縮期/拡張期血圧値
- 5 ウエスト周囲径

問25 (衛生) 生活習慣病に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 メタボリックシンドロームは、インスリン感受性の増大を起こしやすい。
- 2 肥満は、糖尿病、高血圧症、脂質異常症のリスク要因である。
- 3 高値の血中HDLコレステロールは、高血圧の原因となる。
- 4 高値の血中LDLコレステロールは、心疾患発症の指標とならない。
- 5 2型糖尿病の発症には、遺伝的要因と環境要因の両者が関与している。

<複合問題>

46歳、男性。以下の処方せんを保険薬局に持参した。

(処方)

ベンズブロマロン錠 50mg	1回1錠 (1日3錠)
クエン酸カリウム・クエン酸ナトリウム水和物配合錠	1回2錠 (1日6錠)
ナプロキセン錠	1回1錠 (1日3錠)
1日3回 朝昼夕食後	7日分

問26 (実務) 薬剤師の患者への対応及び処方に関する記述のうち、適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1 尿の色の異変を感じた場合、服用を中止し直ちに受診するよう伝える。
- 2 水分摂取を控えるよう伝える。
- 3 既往歴として、腎障害があるか確認する。
- 4 痛風発作時はナプロキセンのような酸性 NSAIDs ではなく塩基性 NSAIDs を使用するため、疑義照会する。

問27 (衛生) この患者が摂取を避けた方がよい食品はどれか。2つ選べ。

- | | |
|-------|--------------|
| 1 いも | 2 豆類 (豆腐を除く) |
| 3 ビール | 4 乳製品 |
| 5 海藻類 | |

<複合問題>

24歳男性。食欲不振、頭痛及びめまいを主訴に来院した。3週間前から室内の壁の塗装のアルバイトをしており、シンナー (主成分：トルエン) 中毒が疑われた。

【血液所見】赤血球 420 万/ μ L、白血球 5,200/ μ L、

【血清生化学所見】AST 70 単位、ALT 60 単位、 γ -GTP 60 単位 (基準 8~50)、
コリンエステラーゼ 580 単位 (基準 400~800)

問28 (実務) この男性がシンナー中毒であると断定するために行うべき生物学的モニタリングとして、正しいのはどれか。1つ選べ。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 尿中パラニトロフェノール測定 | 2 尿中パラニトロクレゾール測定 |
| 3 尿中フェノール測定 | 4 尿中馬尿酸測定 |
| 5 血中トリクロロ酢酸測定 | |

問29 (衛生) この男性が働いている作業現場及び責任者に提案するアドバイスのうち、作業環境管理にあたるのはどれか。2つ選べ。

- 1 有機溶剤を取り扱う部屋に換気装置を設置する。
- 2 作業時間を短縮する。
- 3 健康診断を行い、その結果を労働者に説明する。
- 4 作業部屋の有機溶剤の濃度を測定する。
- 5 作業時にはマスクを着用する。